

2023年9月4日

持続可能なデータドリブン組織を実現する データ分析とデータサイエンティスト育成サービス提供開始

BIPROGYは、全社横断のデータ活用プロジェクトを推進するDX・情報システム部門を対象に、データ分析とデータサイエンティスト育成の支援を行うサービス「RinzaInsight（リンザインサイト）」、「RinzaAcademy（リンザアカデミー）」を本日から提供開始します。

現在、多くの企業が蓄積されたデータの活用に取り組んでいますが、PoC（概念実証）から先に進まず「PoC疲れ」といった課題に直面しています。BIPROGYは、さまざまな業界で200件を超えるデータ活用プロジェクトの実績を生かし、データ分析とデータサイエンティスト育成を同時に実施することで、この課題を解決します。データ活用をPoCで終わらせることなく、持続可能なデータドリブン組織の実現を伴走支援していきます。

【背景】

あらゆる分野でDXの取り組みが進む中、多くの企業が、蓄積されたデータを活用して業務変革につなげるためのプロジェクトを進めていますが、一過性の取り組みで終わってしまう「PoC疲れ」に直面しています。データ活用の方針が定まらない、データサイエンティストをどう育成したらよいかわからない、など計画段階から課題が存在するため、データ活用を進めることができない企業が多く存在します。BIPROGYは、さまざまな業界で200件を超えるデータ活用プロジェクトの実績をもとに、データ活用の計画、実行、定着フェーズで発生する課題解決するためメニューを体系化しました。

【サービスの概要】

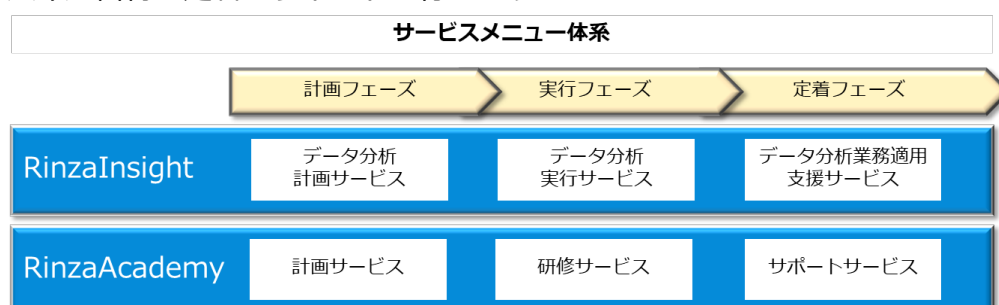
データ活用プロジェクトを推進するDX部門、情報システム部門を対象にデータ分析を支援する「RinzaInsight」とデータサイエンティスト育成の支援を行う「RinzaAcademy」の提供で、データ活用の計画から、導入、定着フェーズまで着実なデータ活用の実現を支援します。

「RinzaInsight」

BIPROGYのデータサイエンティストが、お客様のデータを分析し、課題の発見や因果関係を明らかにし、売上拡大や業務変革の実現を支援します。データ分析のテーマ設定から分析実行、分析結果の業務適用まで支援します。

「RinzaAcademy」

データ活用プロジェクトを遂行できるスキルを持つ実践的なデータサイエンティストの育成を支援します。目標とするスキルセットや育成計画のカリキュラムを設計し、集合研修やeラーニングによるスキル習得と定着のサポートを行います。



本サービスの特徴は以下のとおりです。

1. フェーズごとにメニューを体系化し、お客さまによる自律的で継続的な業務適用を実現
2. BIPROGY のデータサイエンティストが伴走し、PoC で終わらないデータ活用を着実に実現
3. 2つのサービス「RinzaInsight」「RinzaAcademy」を組み合わせることで、持続可能なデータドリブン組織の実現を加速

【今後の取り組み】

BIPROGY は、データと AI でお客さまの課題解決を支援するデータ+AI「Rinza」を多くの業種・業界のお客さまに対して提供してきました。

今後も BIPROGY は、経験豊富なデータサイエンティストとさまざまな分野でのシステムエンジニアリング技術を生かし、データ分析の結果を業務システムに連携させることで、データ活用の効果を最大化していきます。

以 上

■ 関連リンク：

持続可能なデータドリブン組織の実現支援サービス

<https://www.biprogy.com/solution/service/datasupport.html>

※Rinza、RinzaInsight、RinzaAcademy は、BIPROGY 株式会社の商標または登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/